

行政評価シート(事後評価)

コード (97) 11-1-1	事務事業名 学校警備(巡回警備)	所管部課 教育部学校運営課(旧学校教育部教育庶務課)
--------------------	---------------------	-------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	数年前の大阪池田市の小学校の不審者侵入事件に始まり、広島市の小学校女児の下校途中における殺害事件等学校の安全管理が問われている中で、西東京市における学校の不審者対応及び安全管理について警備の委託したことにより、防犯の強化を行い児童・生徒の安全確保が図られることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	市内各小・中学校について有人の巡回警備を民間委託で行っている。また、市内を7区域に区分し、一人あたり4校を午前・午後の1回、校地内外における不審者・不審物の発見を目的に巡回警備を行っている。学校間の移動中においても、絶えず、警備の目を光らせて不審者対応を行っている。	
事業開始時期	15 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
事業費(A)		6,549	7,468	11,850	11,819
財源	千円				
国庫支出金・都支出金					
地方債					
内訳					
その他 ()					
一般財源		6,549	7,468	11,850	11,819
所要人員(B)	人	0.09	0.09	0.09	0.09
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	750	737	734	734
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	7,299	8,205	12,584	12,553
単位当たりコスト					
(E)=(D) / (学校数28校)	千円	261	293	449	448

活動等指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
1日当たり有人警備巡回回数	実績値 回	8	8	14	14
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など)					
成果指標	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
一 登下校における不審者 次 検挙数	目標値 件			0	
	実績値 件			1	
二 地域の安全性の向上 次	目標値 件				
	実績値 件				
(指標の説明・数値変化の理由 など) 巡回警備の充実や、防犯カメラの活用により、不審者の早期発見と登下校における防犯の強化が図られ、不審者の検挙がなくなる。また、各学校の地域ぐるみで防犯を行うようなボランティア団体が設置され、安心して快適な街づくりが図られ、地域の安全性が向上する。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	巡回警備の人員を増員して、各学校に一人配置をしてほしい。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市のなかで、西東京市の巡回警備方式は、先駆的な取り組みであったため、各市から導入するために、照会も多く寄せられた状況である。全校を対象に巡回警備を実施しているのは、26市中西東京市が初めてであり、平成18年度現在では他に1市実施していると聞いている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

コード (97) 11-1-1	事務事業名 学校警備(巡回警備)	所管部課 教育部学校運営課(旧学校教育部教育庶務課)
--------------------	---------------------	-------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	3			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>事業内容については、必要性が高いため現状を維持するように実施していきたい。</p> <p>ただし、学校の防犯については、登下校時の安全性の確保など学校内に限らないという点で対象が広く、学区域全体の課題となる。その意味では、市民自ら活動を起こすような環境づくりを行っていくことが、今後改善すべき点として考えられる。</p>
事業の必要性	3			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	2			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	2				

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	3			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>事業の必要性、重要性については、高位にあると認められる。他団体との比較においても先駆的な取り組みとして注目されているようである。</p> <p>しかしながら、警備委託を単純に数量で増やすことは、限界がある。先駆的という面も厳しい見方をすると過剰なサービスとも見られかねない。一次評価で、すでに改善を要する点に気づいているとおり、将来的には市民自らが地域ぐるみの防犯活動に参加し、安全・安心なまちづくりが図られるよう、防犯協会、育成会、保護者会等の関係機関の協力を得ながら、警備委託に並行して行える仕組みづくりの研究が必要である。</p>
事業の必要性	3			<input type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	2			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	2				

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>事業の必要性や重要性は高位にあり、本市の取組は先駆的なものである。</p> <p>しかし、警備委託を増加することは限界があるため、現在導入している巡回警備だけでなく、登下校時を含めた児童の安全確保に向けて、地域で安全を見守る仕組みを強化していく必要がある。</p>